

大学院特別講義／シグナル伝達医学講演会



自己免疫疾患で precision medicineは可能か？

Precision medicine for autoimmune diseases?

日時：2018年7月6日（金） 17:30～

場所：外来診療棟 4階 A講義室



産業医科大学医学部 第1内科学講座 教授

田中 良哉 先生

田中 良哉先生は、これまで一貫して自己免疫疾患、特に関節リウマチ（RA）や全身性エリテマトーデス（SLE）について、自己反応性リンパ球や炎症性サイトカインなどにより形成される病因・病態のメカニズムを次々に解明されております。“ベッドからベンチへ”、そして“ベンチからベッドへ”という患者さん本位の基礎研究を推進するとともに、新規生物製剤・分子標的治療薬などの治験を実施され、国内外において注目を集めておられる第一線の自己免疫疾患のClinician-Scientistです。また、最近では間葉系幹細胞を用いた新規RA治療法などの開発も進めており、まさに自己免疫疾患のPrecision Medicineの実現に最も近いClinician-Scientistです。自己免疫疾患についての最新のトピックスに触れることができる貴重な機会ですので、是非ご参集ください。

担当：細胞生理学分野 南康博（内線：5561）

主催：シグナル伝達医学研究展開センター

連絡先：研究支援課研究企画係

内線：5195 / MAIL：k9shien@med.kobe-u.ac.jp